

岡本眸の春の句

春寒し暈のへりを踏むことも
欲しきもの夫の相槌牡丹雪
ゆふがたの鏡の青さ水温む
夕星を見てゐて急に野火のこと
何にでも隅といふもの残り雪

松岡隆子 抽